

ギリエルモ F マルガダン S. 著
中川 和彦 訳

メキシコ法 発展論



アジア経済研究所

メキシコ法発展論

G・F・マルガダン S. 著

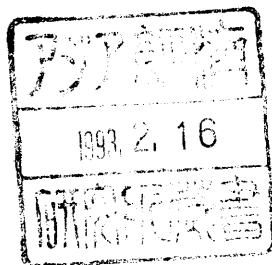
中 川 和 彦 訳

アジア経済研究所

***Introducción a la Historia
del Derecho Mexicano***

Guillermo Floris Margadant S.

(translated by)
Kazuhiko NAKAGAWA



Institute of Developing Economies
Tokyo 1993

メキシコ法発展論

翻訳シリーズ33

1993年2月25日発行©

著者 G・F・マルガダン S.

訳者 中川 和彦

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 コロニー印刷

ISBN4-258-13033-8 C3032

著者略歴

ギリエルモ・フローリス・マルガダン S. (Guillermo Floris Margadant S.)

1924年オランダ、ハーグに生まれる

ロッテルダム大学経済学学士号を取得

メキシコ国立自治大学法学修士号、法学博士号を取得

1960年メキシコ国籍を取得

ヨーロッパ、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ諸国の各大学で教鞭をとる

現在：メキシコ国立自治大学法学部教授、同大学法律学研究所研究員、メキシコ法史学会会長、メキシコ法曹協会副会長、テキサス大学客員教授

主要著書・論文：*Evolución del Derecho Japones : Introducción historico-sociológica al sistema jurídico del Japón actual*, México, D.F, Miguel Angel Porrúa, S.A.(1984), “Official Mexican Attitudes toward the Indians : An Historical Essay,” *Tulane Law Review*(1980), “Mexican Notariate,” *California Western Law Review*(1970) その他多数。

訳者略歴

中川和彦(なかがわ かずひこ)

1931年生、広島県尾道市で育つ。

一橋大学法学部、同大学院法学研究科修士課程、博士課程終了、1962年、一橋大学法学博士

現在：成城大学法学部教授(担当、商法、経済法、ラテンアメリカ法)

主要著書：『ラテン・アメリカ法律書概説』(ラテン・アメリカ協会、1962年)、『ラテン・アメリカ商事法』(千倉書房、1973年)、『会社の計算』(共著、商事法務研究会、1974年)、『経営法学』(共著、丸善、1979年)、『ブラジル会社法』(国際商事法研究所、1980年)、『メキシコ憲法の諸問題』(ラテン・アメリカ法研究会、1985年)、『講義 会社法』(共著、青林書院、1984年)、『ラテンアメリカ諸国の法制度』(共編、アジア経済研究所、1988年)、『ラテンアメリカ諸国の経済法制』(共編、アジア経済研究所、1989年)、『ラテンアメリカ諸国の経済関係法』(共訳、アジア経済研究所、1989年)、『ラテンアメリカ経済法の国際的展開』(編著、アジア経済研究所、1992年)、その他、論文多数。

翻訳シリーズ

33



ISBN4-258-13033-8 C3032 P6180E

目 次

はしがき

序

第9版序

訳者まえがき

第1章 先コルテース〔先スペイン期の〕法	3
第1節 歴史的背景	3
1. 一般的考察	3
2. オルメカ	5
3. マ　　ヤ	6
4. チチメカ	7
5. アステカ	7
6. その他の諸文化	9
第2節 オルメカ, マヤ, チチメカ, およびアステカの法	9
1. オルメカの法	9
2. マヤの法	10
a) 史　　料	10
b) マヤの公法と社会階級	11
c) マヤの家族法	13
d) マヤの刑法	14
3. チチメカの法	15
4. アステカの法	16
a) 史　　料	16
b) アステカの公法	18
c) 土地保有	22
d) 戦　　争	23

e) アステカの租税制度	24
f) アステカ帝国の社会階級	25
g) アステカの家族制度	28
h) アステカの刑法	29
i) アステカとテスココの司法組織	31
j) アステカの訴訟	31
5. 先コルテース〔先スペイン期〕法の残存	32
第2章 スペイン法	39
第1節 一般的観察	39
第2節 12世紀までのスペイン法	40
第3節 12世紀から19世紀初頭のスペイン法	45
第3章 ヌエバ・エスパーニャ法	57
第1節 ヌエバ・エスパーニャ時代の概観	57
第2節 インディアス法	64
第3節 カリブ海時代の前奏曲。二つの世界間の接触の開始	73
第4節 インディアスにおける行政機構	81
第5節 司法組織	92
第6節 ヌエバ・エスパーニャの領土組織	95
第7節 旧大陸からインディアスへの移住	99
第8節 奴隷制度	101
第9節 エンコミエンダ	104
第10節 レパルティミエント	108
第11節 新たな入植中心地の設立	110
第12節 土地制度	114
第13節 ヌエバ・エスパーニャと関連した スペインの経済政策	116
第14節 ヌエバ・エスパーニャにおける衛生行政	127

第15節	ヌエバ・エスパーニャにおける教育	130
第16節	ヌエバ・エスパーニャの軍事組織	136
第17節	副王時代末期の国民所得	140
第18節	副王時代の王室財政	141
第19節	レアル・パトロナート（国王の聖職推挙権）	150
第20節	ヌエバ・エスパーニャにおける修道司祭	153
第21節	ヌエバ・エスパーニャの教区司祭	159
第22節	異端審問	162
第23節	教会の経済力	164
第24節	ヌエバ・エスパーニャの刑法	166
第25節	インディアスの私法	168
第26節	ヌエバ・エスパーニャの社会階層	172
第4章	独立への移行	199
第5章	サンタ＝アナの時代	213
第6章	19世紀半ばのメキシコの経済的、政治的現実	239
第7章	自由主義の勝利	251
第8章	ポルフィリオの時代	269
第1節	全般的な諸局面	269
第2節	ポルフィリオの時代の立法	274
第9章	メキシコ革命	291
第1節	一般的展開	291
第2節	革命期に発令された立法	295
第3節	1917年憲法	298

第10章	1982年の危機までの革命後の時期	305
第1節	一般的な歴史背景	305
第2節	制度的革命党（PRI）と選挙制度	313
第3節	国民的統合への新たな道程	316
第4節	革命後の時代の法律の発展	317
1.	憲法	317
2.	行政法	321
3.	刑法	350
4.	裁判法	354
5.	国際公法	361
6.	国際私法	365
7.	農業法	365
8.	労働法	371
9.	社会法その他の法令	374
10.	民法	374
11.	商法	377
12.	1920年から1982年の立法についての総括	382
第11章	「メキシコ危機」の始まりから 現在までのメキシコ法の展開	391
第12章	メキシコ革命以降の法文化の発展	411
終章		419
索引		425
年表		463